



市内中学校

Q 今、学校では

いしづか せつこ
石塚 節子 議員



A 学び合い学習を進め、 確かな学力を育てている

問 確かな学力の育成とは。
答 知識、技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力、人間性など、より良い社会と幸福な人生のつくり手となる力を育てることである。
問 豊かな心を育てるには文学や芸術が必要ではないか。
答 豊かな心は、道徳の授業を要として、各教科や学校行事など全ての教育活動を通じて育成を図っている。文学や芸術は、琴、和太鼓、三味線、音楽鑑賞教室、読み聞かせ、プロの劇団公演などの本物に触れることにより、豊かな心を育んでいる。
問 体力の向上には、集団で体を動かす遊びが大事ではないか。
答 小学校では、休み時間にとんどの児童が校庭で元気に走

り回っており、教員も積極的に一緒に遊んでいる。中学校では、昼休みは進んで体を動かすよう呼びかけているほか、運動部活動に取り組む生徒もいる。
問 教職員の勤務実態について。
答 令和3年11月の調査では、勤務時間外の在校時間が月45時間のガイドラインを超えていた教職員が64・5割いた。
現在は、コロナ対応やG・I・G Aスクールの取組などの新たな業務が生じており、全体的な業務の見直しが必要になっている。

Q 市長公約であるNゲ ージとテーマパーク はせがわ 長谷川 清 議員 きよし



A 将来を見据えた重要な施策 である

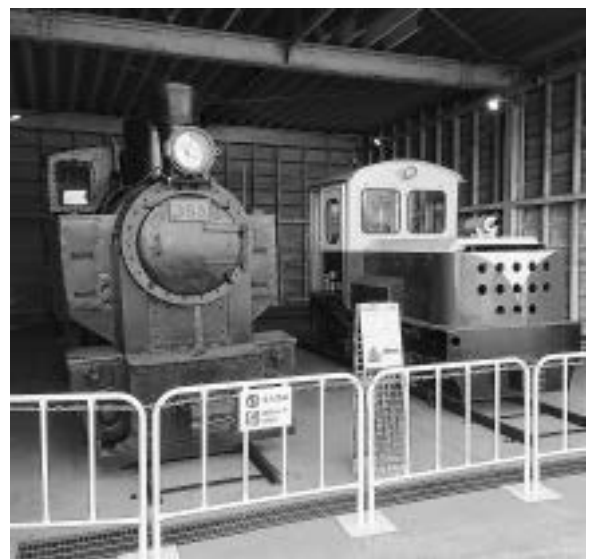
問 齊藤市長は2期目の公約として仮称「Nゲージとガーデンパーク」構想を掲げた。

この構想は、鶴ヶ丘地内に工場を建築する株式会社関水金属が、その敷地内に線路を敷設して機関車を走らせるとともに、線路周辺を英国式ナチュラルガーデンとして整備することに併

せて、市において、工場敷地と接している鶴ヶ丘児童公園の一部を鉄道敷地とし、公園内に同社の負担による駅舎を建設するとともに、ナチュラルガーデンとして整備するものである。

また、新たに整備したこの場所をまちづくりの拠点として、地域住民の生きがいづくり、地

域コミュニティの再形成、健康づくり、地域支え合い協議会や自治会との新たな関係づくり、地域経済の活性化、関係人口・交流人口の創出、地域における雇用機会の創出をするという構想である。
市長は、第6次総合計画において、「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」を掲げているが、このような事業が市長の最重要施策で大丈夫なのか。
答 第6次総合計画を進める上で、これだけがメイン事業というわけではないが、将来を見据えた重要な施策である。



市で保管・展示している機関車